

施策評価シート

施策番号【5-2】

評価年度	令和6年度	事業実施年度	令和5年度	施策主管次長名	水 野 貴 行
施策番号	5-2	施策名	環境にやさしいまちにしよう	総合計画掲載頁	128～131
主担当部名	市民経済部				
関連課名	生活環境課、企画政策課				

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL（中間目標値と最終目標値の確認）

取組分野1 地球環境の保全		R5 目標値	R10 目標値
指標名	CO2総排出量		
指標の定義	市内におけるCO2総排出量	90万トン以下	83万トン以下
取組分野2 循環型社会		R5 目標値	R10 目標値
指標名	再利用資源回収率		
指標の定義	家庭系ごみの総排出量に占める再利用資源回収量の割合	27%	28%
取組分野3		R5 目標値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野4		R5 目標値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			
取組分野5		R5 目標値	R10 目標値
指標名			
指標の定義			

2 成果指標 DO & REPLAN（実績を計上し計画値を再設定）

指標①	取組分野1 地球環境の保全							
	成果指標名	「エコエネルギー促進事業補助金」利用件数	単位 件	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
				5,625	5,924	6,261	6,826	7,415
			指標設定の考え方	市内におけるCO2排出量を削減するため、「エコシステム」及び「エコカー」導入を図り、購入等に対する助成を行う。				
	対象	市民	把握方法	累計補助件数				

指標②	取組分野1 地球環境の保全							
	成果指標名	「再生可能エネルギー普及啓発事業」利用事業者数	単位 件	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
				5	6	7	8	16
			指標設定の考え方	再生可能エネルギーの普及啓発のため、省エネ診断等の事業を実施する。				
	対象	事業者	把握方法	省エネ診断等の事業実施件数(累計)				

指標③	取組分野2 循環型社会							
	成果指標名	資源ごみ回収推進活動数	単位 件	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
				29	15	16	16	16
			指標設定の考え方	ごみの減量と資源の有効活用を図るため、資源ごみの回収団体に対する支援を行う。				
	対象	資源ごみの回収団体	把握方法	資源ごみ回収団体の活動件数				

指標④								
	成果指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
			指標設定の考え方					
	対象		把握方法					

指標⑤								
	成果指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
			指標設定の考え方					
	対象		把握方法					

3 施策の評価 ANALYSE & CHECK（分析・評価）

施策の分析（現状の確認と近隣調査）		
施策の現状	・省エネ・省資源並びにCO2削減に取り組むため、住宅系クリーンエネルギーシステムを設置した場合と次世代自動車を購入・リースした市民及び次世代自動車を購入・リースした事業者に対して助成を行っている。 ・市内において活動する小中学校PTA、子ども会等の団体が資源ごみ回収事業を行った際に、回収量に応じて助成を行い、リサイクルの推進を図っている。	
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・CO2削減など自然環境への負荷軽減のため、電気・水の節約などの生活様式の見直しを行うとともに、再生可能エネルギーの必要性を理解し、その利用に努める。 ・市民は、分別回収やリサイクル活動に努め、ごみの排出の少ない生活様式への転換を行う。事業者は、事業活動に伴う廃棄物の抑制を目指し、リサイクルによるゼロエミッション(排出量の実質ゼロを目指すこと)を実践する。
	行政	・地球環境の負荷が少なく、温室効果ガスを削減した低炭素社会の実現を目指すため、省電力、省エネルギー促進のための補助制度の実施や環境保全のための各種PRを行う。 ・市民のリサイクル意識を向上し、資源の再利用や再資源化を目指すため、4Rに関する各種PRを実施する。
近 隣 市 町 と の 比 較	リサイクル率の比較(R4) みよし市15.1%、豊田市17.3%、刈谷市14.4%、日進市25.7%、東郷町19.2% (出典 令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査 愛知県)	

施策の評価（活動の振り返りと課題の明確化）	
令和4年度以前の活動	・住宅系地球温暖化対策設備を設置した市民、次世代自動車を購入・リースした市民及び事業所に対して助成を行った。 ・ゼロカーボンシティ推進のための施策案、数値目標をゼロカーボンシティ推進検討会で協議、決定した。 ・市内で活動する小中学校PTA、子ども会等の団体が実施する資源ごみ回収事業に対して助成を行った。 ・家庭ごみ計画収集でプラスチック製容器包装の収集を開始した。(R2) ・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の運用を開始した。(R2) ・市内3箇所目となるリサイクルステーションを設置した。(R2) ・第2次みよし市環境基本計画を策定した。(R2)
令和5年度の活動内容	・住宅系地球温暖化対策設備を設置した市民、次世代自動車を購入・リースした市民及び事業所に対して助成を行った。 ・ゼロカーボンシティ推進に向けた事業モデルとして、中小企業を対象とした「脱炭素プラットフォーム(脱炭素相談窓口)」を構築することについて、ゼロカーボンシティ推進検討会で協議し、決定した。 ・市内で活動する小中学校PTA、子ども会等の団体が実施する資源ごみ回収事業に対して助成を行った。 ・ペットボトルの水平リサイクルを開始。 ・プラスチック製容器包装・プラスチック製品廃棄物の一括分別回収(リサイクル)の開始。 ・リサイクルステーション(メグリア三好店駐車場)の建替えを行った。 ・市内主要公共施設にカーボンニュートラルな都市ガスを導入し二酸化炭素排出量を削減。
積み残し課題等	・市内のCO2総排出量削減のためには、市民・事業所・行政全体の取り組みが必要であり、そのための施策の検討・実施が必要。 ・食品ロス対策

4 活動計画 ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和6年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・令和5(2023)年度までの調査、検討事項等を踏まえ、令和6(2024)年度において、令和32(2050)年までにCO2排出量実質ゼロの実現を目指すロードマップを掲げた「ゼロカーボンシティ推進計画」を策定し、令和7(2025)年度以降においては、計画に基づき事業モデル等の施策を実施する。 ・ごみの分別方法の周知により、ごみの減量化とリサイクル率の向上を図る。 ・食品ロス削減のための啓発を実施する。 ・エコエネルギー促進事業の拡充を図る。
施策目標達成に向けての令和6年度の活動内容	・ゼロカーボンシティ推進に向けた事業モデルとして、中小企業向けの「脱炭素プラットフォーム(脱炭素相談窓口)」を構築し、運営を開始する。 ・ゼロカーボンシティ推進協議会へ諮問を行い、「ゼロカーボンシティ推進計画」を策定する。 ・宅配による小型家電のリサイクルを開始。 ・市イベント時にフードライブの実施や毎年10月の「食品ロス削減月間」に合わせた広報での啓発などにより食品ロス削減を図る。 ・宅配ボックス設置費補助金を創設し、再配達に係る配達事業者の負担を低減、配達車両から排出される二酸化炭素排出量の削減を図る。